



お互いに教えあいながら ～ 受講生に人気があるゲートボール

(広報紙中にある写真を欲しい方には
お返しします)

この教室は、お年寄りの皆さんに健康づくりの機会にしたい。こういうもの。学習種目は軽体操、レクリエーション、フォークダンス、ビーチバレーボール、クローケーなどで、お年寄りの皆さんが気軽に取り組み内容になっています。最近ではゲートボールに人気があり、ゲートボールの学習時間を多くしているそうです。

また、この教室はお年寄りの皆さんに交流の場としていただくことも目的としており、受講生たちはお互いに教えあいながら、スポーツを楽しんでいます。

「高齢者体力づくり教室」は、六十歳以上の皆さんを対象にしたスポーツ教室です。毎月最終水曜日の午前中二時間、広域体育館や雀館運動公園運動広場を会場に開かれます。

高齢者体力づくり教室

町の生涯教育

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所

川をきれいに



磯ノ目大橋付近

全町盆踊り

上山内町内会に町長杯 六百人が踊りに参加

五城目町盆踊り大会（全町盆踊り大会）は、八月二十一日午後七時半から、中央線で開かれ、町のメインストリートが会場となった今年は、たくさん見物人でにぎわいました。

また踊りに参加した団体、個人の審査が午後八時半から行われ、その結果、総合優勝は上山内町内会チームに決まり、同チームには町長杯が贈られました。

大会には、町内団体六チーム、青年団体五チーム、職場は、子供たちも踊りの輪に加わり、総参加者数は六百人以上が参加しました。また上となっています。



総合優勝の上山内町内会



個人優勝の永尾聖子さんたち

踊りの審査は、五城目町芸術文化協会の会員十人によって行われ、踊り三十点、歌十点、仮装十点の五十点満点で採点、順位が決められました。

- おぼこ
 - ▽熱演賞 中川原町内会
 - ▽川原愛好会
- 〔職場団体〕
 - ▽優勝 株式会社イトマン
 - 祝踊
 - ▽準優勝 秋田ホーセKK
 - 縫製大黒舞
 - ▽努力賞 五城目信用金庫
 - 信ちゃん（音頭）
 - ▽熱演賞 五城目町役場
 - 合併三十周年
- 〔青年団体〕
 - ▽優勝 SDE会
 - 昇り龍
 - ▽準優勝 土曜会
 - 土曜会
 - ▽熱演賞 上樋口青年会
 - 熱開チアガール
- 〔個人〕
 - ▽優勝 永尾聖子外四人
 - リバーサイド磯ノ目の午後
 - ▽準優勝 渡辺礼吉
 - 寿の舞
 - ▽努力賞 島山トミエ外一人
 - えびすだいきく笑って踊ろう
 - ▽熱演賞 熊谷ツル
 - 黒田節



青年団体優勝のSDE会



職場団体優勝の株式会社イトマン

成人証書と記念品贈る 台湾の留学生が講演



町長と台湾の高さん(左から3人め)も加わって記念植樹

夏の成人式である「新成人を祝う若人たちのつどい」は、八月十五日、広域体育館で開かれ、新成人一人ひとりに町から成人証書と記念品が贈られました。

今年度の町内の新成人は、

男百三十九人、女百五人で昨年度より十二人少ない二百四十四人。式典には百九十七人が参加しました。式典に先立ち「ふるさとめぐり」が行われ、新成人たちは三台のバスに分乗して、町

内の施設や旧跡、名所を見学しました。その後の記念植樹では、新成人の代表四人が、雀館運動公園内の古代井戸跡そばに白樺二本を植え付けました。

式典は午前十一時二十五分から始まり、各地区の代表十六人に、町長から成人証書が手渡されました。

今年が国際青年年に当たることから新成人の意見発表では、石井純さん(町村)が「国際青年年と成人になった感想」について、伊藤美和さん(田町)が「国際青年年と五城目町に期待するもの」について意見を述べました。

また、台湾から秋田大学に留学している高文欽さんが式典に招かれ、高さんは「外国人から見た日本青年について」と題して講演しました。

最後に、千田博之さん(野田)と工藤真由美さん(浅見内)による新成人誓いのことばがあり、新成人たちは成人になった喜びと自覚をかみしめていました。

防火管理者講習会

受講希望者は 申し込みを

防火管理者に必要な知識と技術を学ぶ講習会が、次の内容で開かれます。二日間にわたり全科目を修了した方には、修了証が交付されます。

受講を希望される方は、消

防署(☎5212028)に用意してあります。受講申し込み用紙に必要事項を記入し、テキスト代三千円を添えて、九月十日までに消防署へ申し込んでください。

▽受講日

十月十五日(火)・十六日(水)

二日間

▽受講時間

午前八時半～午後四時半
▽受講場所
秋田市山王四丁目1-1
秋田県正庁

▽受講対象者

事業所における管理的、監督的地位にある者で、防火管理者の資格を取得し、防火管理の業務を行おうとする者。

冠婚 葬祭

公民館の調査から

⑦

一般会葬者の香典 意外に高額

▽葬儀の香典はどのくらいか(一般会葬者の場合)

一般会葬者の香典は、「一万円以上」が二・二%で最も高い数値を示しています。これに「五千円から九千九百円」を合わせると四〇%を超え、一般会葬者の香典は意外に高額であると言えます。

全県の調査では「一万円以上」が一三%、「五千円から九千九百円」が一八%。これらを合わせると三二%ですから、本町の場合、全県よりもかなり高い数字になっています。

また「千円から千九百円」は全県では三・一%なのに対して、本町ではわずかに三・二%であることからしても、本町の香典の金額は相当高額であることがうかがえます。

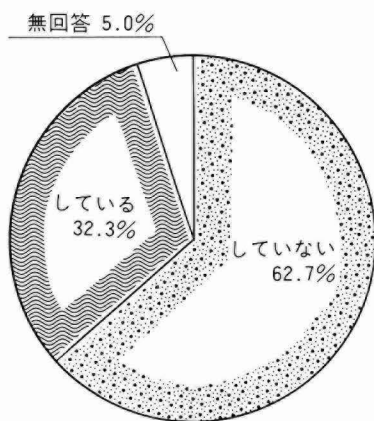
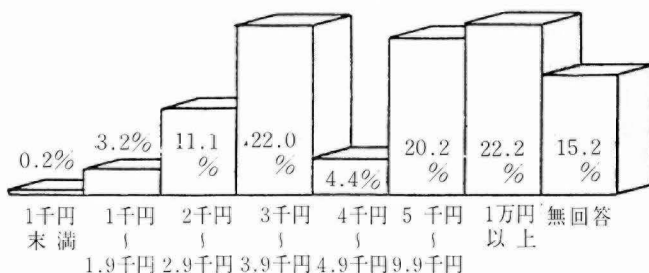
▽香典の金額について申し合わせをしているか

同じ地域でありながら回答が分かれていています。申し合わせが徹底していないからなのか、あるいは狭い範囲での申し合わせのためなのか、確認する必要があると思います。

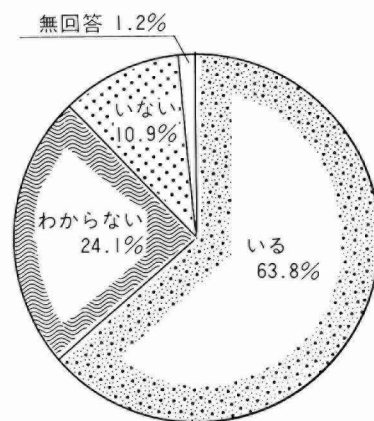
▽申し合わせは守られているか

「守られている」が六三・八%と高率になっており、申し合わせの効果は、この調査でみる限り相当高いようです。

葬儀の香典の金額 ② 一般会葬者の場合



香典の金額の申し合わせ



申し合わせは守られているか

カメラレポート



1025人が集い楽しむ

第15回子どもの祭典

第15回子どもの祭典は、8月8日、午後3時30分から五城目小学校のグラウンドで開かれ、小学校5、6年生、中学生合わせて1,025人が参加。キャンプファイヤーや打ち上げ花火などを楽しみました。

今年は、自由コーナー・開会式に続いて行われたウルトラクイズでは、町制施行30周年にちなんで、町のことに関する質問も多く出題されました。

また、アトラクションには内川ささらと中村番楽が出演し、祭典に花をそえました。



キャンプファイヤーで町長から友情の火を受ける二方くん(右)



講演する佐藤学部長

秋大の学部長が講演

第3回定例文化経済懇話会

第3回定例文化経済懇話会が、8月22日、講師に秋田大学教育学部長の佐藤守氏を招いて開かれました。

佐藤氏は「高齢化社会を考える」と題して約2時間講演。会場では、民生児童委員や老人クラブのリーダーなど160人あまりが出席し、メモをとるなど熱心に聴きいていました。

お知らせ

大川土地改良区の事業

計画書と定款を縦覧

大川土地改良区が新たに行う土地改良事業認可申請が適当と認められ、その計画書と定款の写しを縦覧できます。

▽縦覧できる書類

①石崎中島地区県単小規模土地改良事業計画書および定款の写し

②四ツ屋地区小規模排水対策特別事業計画書および定款の写し

③谷地中地区小規模排水対策特別事業計画書および定款の写し

④沖面地区小規模排水対策特別事業計画書および定款の写し

▽縦覧期間 八月二十八日～九月二十日

▽縦覧場所 役場農村整備課

国民健康保険杯

全町ゲートボール

国民健康保険杯全町ゲートボール大会が開かれます。これは町の国民健康保険事業の一環として行うものですので、町民であれば年齢、性別に関係なくどなたでも参加できます。



全国下水道促進デー
9月10日

▽日時 九月二十五日(水)、開会式 午前九時、競技開始 午前九時半(小雨決行、雨天延期)

▽会場 雀館運動公園運動広場

▽参加制限 各町内会から一チーム八人

▽参加申し込み 九月十四日まで役場保健衛生課へ申し込んでください。

五城目地区

住民体育祭を開催

▽日時 九月八日(日)、集合 午前九時、入場行進開始 午前九時半(雨天の場合は九月十五日に延期)

▽会場 五城目小学校グラウンド

“いじめ”を考える

シンポジウム開催

秋田人権擁護委員協議会と秋田地方事務局では、“いじめ”について考える”をテーマにしたシンポジウムを開きます。

▽日時 九月十二日(木)午後一時半～午後四時

▽会場 秋田県生涯教育センター 秋田市山王中島町

▽講師 椎名靖豊(県特殊教育センター)、佐藤州子(県警本部)、佐藤春枝(秋田市福祉事務所)、山田實(人権擁護委員) 司会)

▽対象 人権擁護委員、教育関係者、一般

関係者、一般



馬場目川を下るいろいろなイカダ

町内の話題

手製のイカダで川下り

川の美化呼びかけ

第四回馬場目川下り大会は、八月十八日、午後二時三十分から、馬場目川の五城目橋から竜馬橋まで約四キロのコースで行われ、昨年は八隻上回る二十隻が参加しました。「馬場目川をきれいにしよう」と呼びかける手製のイカダによる川下り大会は、今年で四年目。キャンペーン標語をつけるのが条件だけで、二人乗り以上ならどんなイカ

ダでも参加でき、スピードやデザイン、標語の内容を競い合うもの。昨年は、五城目町、八郎潟町両町の商工会青年部が共催で開いており、年々参加者や応援者も増え盛会になってきています。

参加したイカダは、丸太を組んだ本格的なものから、発泡スチロールやタイヤチューブを組み合わせたもの、屋根船風のものなどさまざま。当日、ダムの水が放流されたものの、ところどころに浅瀬が残り、イカダを押す光景もみられました。ほとんどのイカダは一時間三十分くらいでゴールに達し、待ち受けた人々から大きな拍手を受けていました。

成績は次のとおりです。

▽総合優勝（最優秀賞）
秋田中央交通チーム
▽標語・キャンペーン賞
二〇会号（とりもどそう心と川に清流を）

▽スピード賞
クリーンエリザベス一世号（56分45秒）
▽アイデア賞
のんべえす

大川小惜敗し三位に

全県クラブ野球

第十六回全県小学校クラブ野球大会兼第八回全県スポー

ッ少年団大会は、八月十六日から三日間の日程で、秋田市の八橋、県立両球場を会場に開かれ、大川小学校は堂々三位に入りました。

この大会には、全県から地区大会を勝ち抜いた十六チームが参加。南秋田郡代表の大川小学校は、準決勝で脇本第一小学校と対戦、二対二の同点で延長戦となり、延長八回にスペシャルルールを行い、七対二で措しくも敗れました。大川小学校では、春から夏にかけて五、六年生の男子生徒全員が野球部に席を置き練習に励んでいます。今回の成績について監督の中川先生は「昨年、金農野球部嶋崎監督と鈴木選手を迎えて、郷土の先輩の話をきく会を開き、生徒たちにより刺激になったことや昨年のレギュラー六人が残っていたこと、また、練習試合を多くこなしたことが上げられる」と話していました。

成績は次のとおりです。

▽一回戦	大川小	6-5	鷹巣小
▽二回戦	大川小	8-4	中川小
▽準決勝	脇本第一小		
大川小	00020000	05	
	10000001	27	

お知らせ

消防設備士試験

準備講習会を開催

消防法に基づく昭和六十年度の消防設備士試験は、十月三十日（水）に行われますが、これに伴う講習会は次のとおりです。

▽講習日および講習の種類

十月一日（火）甲・乙種一類
十月二日（水）甲・乙種四類
十月三日（木）乙種六類・

▽講習の場所および時間

場所 秋田市山王四丁目2
12みずほ苑（三階）
時間 午前九時から午後四時半まで

▽受講料 四千元

▽受講手続

九月十三日（消印有効）までに秋田県生活環境部消防防災課内・秋田県消防設備保守協会に受講申請書を提出してください。受講申請書は消防署にあります。

※詳しいことは消防署（☎5212028）にお問い合わせください。

聴覚障害者の巡回相談

町民センターで

身体障害者更生相談所の主催で、聴覚障害者を対象にした巡回相談（聴覚）が行われます。

▽日時 九月三日（火）午前十時～午後二時

▽会場 町民センター

▽対象 身体障害者手帳所持の有無に関係なく聴覚障害があ

ると感じている人
※身障者手帳や補聴器を持っている人は、当日必ず持参してください。
県内で働く
若者の作文を募集

▽応募資格 昭和六十年三月および五十九年三月卒業者

（中学、職業訓練校、高校、各種学校、短大、大学）で県内就職者

▽テーマ 職場での体験などによる感想、主張、意見

▽応募方法 四百字詰原稿用紙四枚程度

▽締め切り 九月末日（消印有効）

▽送り先 秋田市山王四丁目1-1 社団法人秋田県雇用対策協会 ☎6011744

海上保安大学校・学校
入校生を募集

海上保安大学校と海上保安学校の入校生を募集しています。

▽受付期間 九月十三日～二十六日

▽採用予定数

大学校約五十人
学校：水路約十人、灯台約三十人、通信約二十人、航海等約八十人

※受験資格など詳しいことは返信用切手百七十円を同封のうえ、秋田市土崎港西一丁目7-35・秋田海上保安部（☎4511621）へお問い合わせください。

敬老式

バスで送迎します

町の敬老式は、九月十一日（水）午後一時から広域体育館で、町内の七十歳以上のお年寄りをお招きして行われます。

町では当日、バス十五台と庁用車一台を運行して、参加者の送迎にあたります。バスと庁用車の運行は次のとおりです。帰りのバスは全車とも午後三時半に広域体育館前から発車します。また、送迎バスは定期バスの全停留所に停車します。

会場行きバスの通過予定時間は次のとおりです。（一）は時間。

- ▽1号車 貝田呉服店前（12・10）
- ▽2号車 野田神社前（11・45）
- ▽3号車 神明社前（12・00）
- ▽4号車 秋山タンス店前（12・05）
- ▽5号車 老人ホーム森山荘前（11・55）
- ▽6号車 千日バス停（11・00）
- ▽7号車 北の又金沢良蔵宅前（11・05）
- ▽8号車 中村バス停（11・20）
- ▽9号車 （11・50）
- ▽10号車 湯ノ又バス停（11・30）
- ▽11号車 大川バス停（11・45）
- ▽12号車 大川改善センター前（11・25）
- ▽13号車 浦横町バス停（11・30）
- ▽14号車 八田バス停（11・30）
- ▽福祉バス 帝釈寺バス停（11・40）
- ▽庁用車 小倉公民館前（11・40）

いじめの問題を考える

立正大学教授が講演

第四回定例文化経済懇話会は、第二十二回教育振興大会の講演会と合わせて、九月九日（月）午後一時か



藤田教授

ら午後三時まで、広域体育館第二体育室で開かれます。今回は、立正大学教授の藤田秀雄氏をお迎えして講演を行います。演題は、最近社会的な問題としてマスコミなどで報じられている「いじめと生徒指導」です。児童、生徒をとりまく社

会環境、教育環境を考えるよい機会ですので、おさそい合わせのうえ多数ご聴講ください。受講料は無料です。藤田氏は、東大教育学部卒業、東大大学院博士課程修了、現在、立正大学教授。早稲田大、北大、お茶の水女子大、明治学院大などの非常勤講師も務められています。

第四回定例文化経済懇話会

9月9日

広域体育館で

町で金婚をお祝い

対象ご夫婦は19組

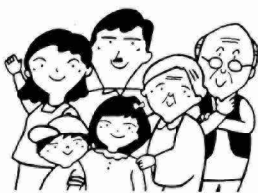
町では、今年度で結婚五十年を迎えられるご夫婦をお招きして、金婚式を行いお祝いをします。

対象となるご夫婦は十九組。九月十一日（水）午前十一時～正午

▽会場

町民センター（四階いやさか）

10月1日(火)は、
国勢調査の日です。



国勢調査

総務庁統計局

10月1日、国勢調査が全国いっせいに実施されます。9月下旬から10月上旬にかけて、調査員が皆さんのお宅にお伺いします。この調査の結果は国や都道府県、市町村などのこれからの行政の基礎になるものです。積極的なご協力をお願いします。



南秋男鹿ゲートボール

大川Aチーム優勝

第一回南秋男鹿親善交流ゲートボール大会は、八月四日、五日の二日間、雀館運動公園運動広場を会場に、郡内や男鹿市から七十八チーム、六百人近い選手が参加して開催されました。

優勝 古川町 1分21秒1
準優勝 下山内 1分23秒5
三位 畑町 1分24秒1
四位 脇乙 1分25秒4
五位 八田 1分29秒0
六位 西野 1分29秒6
七位 岡本二区 1分30秒2

町内対抗水泳大会
古川町・四連覇成る
八月四日 温水プール
(参加チーム15)

ムの活躍が目立ちました。成績は次のとおりです。
▽決勝トーナメント進出チーム(本町分)：大川A、五城目五葉会、岩野、五城目球進会、田町、山内、富田
▽優勝 大川A
準優勝 五城目球進会
三位 天王町江川
敢闘賞 若美町角間崎B

町民憲章・町の花鳥木

町内の皆さんから募集

町では、町村合併三十周年記念事業の一つとして、町内の皆さんから「町民憲章」の文案と、町の「花」「鳥」「木」の名前を募集しています。

採用した町民憲章の文案と町の花、鳥、木は、十月二十日の五城目町躍進三十周年記念式典で発表するほか、記念誌などに掲載して、町内の皆

さんに紹介します。また、作者には記念品を贈ることにしています。

町民憲章の文案

憲章の内容は、▽豊かで住みよい町土▽明るく活気ある健康な社会▽文化の香り高い郷土を築きあげ「豊かな人間性と創造性を培う田園都市」形成にむけて、町民が日常生活

の中で実践でき、町づくりの指標となるものとします。文の構成は、前文と五項目以内の本文とし、表現方法は文末表現、接頭表現、項目のならば方など自由です。

町の花・鳥・木

町に実在する花、鳥、木で町のシンボルにふさわしく、町民に愛されるもの。

募集締め切り 九月十日

応募先・問い合わせ先

役場企画調整課(☎52-12100)

献血ありがとうございます

ごさいます



八月二日、町内五カ所を巡回して行われた献血に協力してくださいました方たちのお名前は次のとおりです。

(敬称略、数字は献血回数)

笹村芳夫 20 佐藤貴子 13
児玉英一 20 佐々木昭三 14
石井政則 21 齊藤喜久也 11
児玉 泰 23 猿田 仁 12
勝田重信 49 嶋崎一人 4
奈良登志子 9 栗山孝子 12
猿田 長 3 椎名耕一郎 22
大石正広 18 武田秀雄 18

伊藤茂美 10 島山 徹 10
石井有子 2 館岡研悦 4
児玉 昇 26 佐藤和久 4
沢田石清樹 8 煙山誠次 8
金子成敏 27 小松信男 39
八柳一己 8 松橋兼一 14
赤坂賢治 7 伊藤悦子 4
北嶋正千代 29 千葉和彦 15
伊藤武次 17 松橋正浩 3
高橋作雄 39 島山信三 2
朝野暢稔 15 伊藤和義 20
児玉幸子 15 佐々木広志 22
工藤高明 4 猿田広秋 7
小玉則男 12 佐々木久米雄 23
玉内克一 5 浅野浩子 4
館岡歌子 5 鳥井 寿 6
猿田文子 5 加藤 剛 1
菅原義国 9 佐々木喜久雄 12
猿田俊彦 16 西井信夫 12
石井淳一 3 工藤幸男 5
鳥井裕美子 8 工藤八郎 11
佐々木彦一郎 2 大石定祐 10
大石祥子 3 伊藤久視 5

島山三枝子 9 佐川俊雄 5
小玉一志 10 小玉一男 8
渡辺鉄男 49 八柳睦彦 4
伊藤直志 5 石井五兵衛 14
金野政志 8 佐々木幸雄 16
佐々木敏 11 沢田石徳美 6
佐藤幸桜 7 金沢和子 18
伊藤久光 15 一関武彦 7
伊藤 清 20 長谷川国夫 12
一関ユミ子 14 石井修子 3
小玉利春 13 猿田末治郎 8
渡部幹子 4 島山隆博 19
菊地孝浩 3 金沢 勲 19
嶋崎喜代光 15 長谷川 誠 8
板橋勇喜 4 鎌田 岬 6
佐藤幸代 3 渡辺秀勝 42
佐藤真悦 37 石井千秋 2
佐藤与志美 19 小玉孝一 49
三浦 景 2 錦織久美子 11
佐々木ミチ子 2 桑原富一 2
千田素子 6 石井留利子 7
高田義彦 9 伊藤彦磨呂 17



親子の健康な歯(ハミ)をめざして

五城目町親と子の健康な歯づくり運動推進委員会

健康な歯づくり作文・中学校の部特選

気になる三文字

五城目第一中学校二年 高堂 五月

小学校三年生から、私はむし歯を気にし始めた。歯科検診が行われ、治療カードが渡ってくると、不安でいっぱいになる。毎日、一生懸命歯みがきをして、むし歯ができてしまうのである。「またか」と重い足をひきずり、しぶしぶと徒歩で三十秒の歯科医院へ行く。おや、また来たかという、むしろなじんでしまったお医者さんの笑顔。でも、待ち合い室で、テレビの音と、あのおそろしいキーンと歯を削る機械の音を聞きながら過ごす時間は、あまり気持ちのよいものではない。名前を呼ばれて、いすに座り、目の前にいろいろな先生の七つ道具がそろ

と、もうだめだ。このいすに座る瞬間まで、むし歯のうっとうしさを痛感できない自分が、ほとほと情なくなってしまう。このように、何度でも何度でも歯医者への通院を繰り返した私であった。そんなある日、私は図書館でぼろぼろの本を広げて見ていた。その一番最初のところに、確か歯と胃の絵がかいてあって、それが話をしていて、そこがよかった。胃が歯に「おまえなんか、ただそうやって白く光っているだけじゃないか」と言う、歯は「そうかな、では私は仕事を休むから、君よろしく頼むよ」と言って、二、三日、自分の役目を果たさなかった。すると、誰でも承知のように胃はこわれてしまい、そのうえ体中が病気になるってしまったというお話だった。

私、この本の「胃」と同じ考えで、さほど歯が大切な役目をしていないなどとは思わなかったことに気付いた。私の心には、いつもむし歯のことが、どこかにひっかかっていたように思う。痛い思いをしたくないということと、自分の歯は最後まで大切にしたいということが目標であり、本心である。むやみに歯ざわりの悪いにせもの歯で食べ物をかむことは、何とも味気なく、淋しいものだと思

くからだ。

毎年、歯科検診の頃になると、不安でいっぱいになる。「むし歯」という文字は、いつも気になる三文字である。



高堂 五月

は、いつも気になる三文字である。

いそのめ風土記

⑪

中世の五城目（その二）

五城目の館主たちと安東・秋田氏

戦国期の当町域をも含む秋田以北の歴史は安東・秋田氏をぬきにしては語れない。蝦夷安倍安東を自称してはばからず、他からは「日の本將軍」と尊称された安東・秋田氏こそは、東北日本海側生え抜の大名である。今春、福島県三春町歴史民俗資料館で開かれた「安東秋田展」は圧巻であった。この三春という当町にとつてはなじみの薄いと思われる城下町が、実は安東・秋田氏の転封（領地替え）先



三春町にある安東・秋田氏の尊霊塔

ていた頃からである。『羽陰温故誌』や『秋田風土記』等によれば、この頃山内城には三浦采女正、馬場目城には馬場目玄蕃正、砂沢城には五十目内記がいてそれぞれに分立し対峙していたことが伺われる。

天正十六年（一五八八年）に始った湊合戦には当地の館主たちも檜山・湊両派に分れて参戦、結果は檜山方の勝利となる。勝者実季は湊に本拠を移し秋田姓を称し、秀吉によってその支配を公認されるに及んで、名実共に大名秋田氏が成立した。これに伴い湊方についた馬場目玄蕃正、三浦采女

正は滅亡し、実季に合力した五十目内記は、秋田氏の家臣として砂沢城下八五六石余の知行を認められる。『秋田実季分限帳』上町・下町を含む今日の町の中心部一帯がその領地で、秋田氏への比内軍役免除という特典付きの論功行賞色濃いものであった。

なお、大川・石崎・馬場目・黒土の諸村は秋田氏の代官支配となり、久保・館越・馬場目町村・山内の諸村は豊臣秀吉の蔵入地に編入された。こうして五城目も大名支配の時代を迎えたのである。

（県立博物館 渡部紘一）

みんなの広場

日本の経済繁栄と

防衛について

昨年訪日した中国の胡耀邦総書記が、帰国後「豊かな日本に驚いた」と日本の記者に語ったという。たしかに日本は豊かな国になった。かつて日本の国民所得はアメリカの五分の一という時代もあったが、今ではほぼ同等となり、隣国中国と比較すると一千万ドル対二百五十ドルというから数字の上では四十倍の豊かさである。

戦後の日本は、アメリカの強大な政治軍事力の保護のもと、経済成長に集中的に努力を傾けることができた。しかし、今日アメリカの力は、ソ連の軍事力増強によって後退し、経済でも日本に追い込まれているので、今後日米間の貿易摩擦が進めば進むほど気になるのは、日本に対する「安

保ただ乗り論」の台頭である。昨年の西側における防衛費を国家予算との比率で見ると、日本は五・五％、米国は三十三％、英国十二％、仏十八％、西独が二十八％の支出である。また、GNPとの比率は日本は〇・九九％、米英仏西独はともに四・六％。さらに国民一人当たりの防衛費負担額は、高額の米国を別としても英仏西独はともに日本の約四倍となっている。防衛費は少なく済めばこれに過ぎることはないが、現代の防衛力は戦争を起こさせない為の抑止力と

資源小国日本は貿易立国として繁栄してきたが、昨年の貿易額は輸出が千七百一億ドル、輸入が千三百六十四億ドル、差引き日本円にして約八兆円の黒字である。この貿易黒字の主な相手国アメリカとの間に深刻な貿易摩擦を引き起こし、現在でも毎月一兆円近い貿易不均衡が続いているので、対日批判は高まるばかり。ある経済通に言わしめれば、日米関係は爆発寸前の状態であるという。

防衛は国の安全という国政の基本に係る問題であるが、西側の一員として日本が生きていく以上、自国の都合のみで防衛政策を進めようとする、貿易摩擦に加え、さらに防衛摩擦に発展しかねないことを心配する。日本が防衛費の歯止めとしてしているGNP一％問題も長期的かつグローバルな視点で捉え議論していかないと、ハーマンカーンの言った「二十一世紀は日本の世紀」どころか日本はますます孤立化の道をたどることを憂える。

五城目町自衛隊父兄会
佐々木 憲夫



善意銀行

（敬称略）

七月二日
二万円 黒土 石井助蔵
（亡妻サト様の香典返しと）

七月六日
三万円 落合 ト藤重孝
（亡妻ケイ様の香典返しと）

七月十九日
三万円 館町 猿田由男
（亡父源蔵様の香典返しと）